

平成 26 年度 部長マニフェスト（評価及び検証）

## 総務部 部長マニフェスト（評価及び検証）

重点課題 ①

自己評価

### 災害時における地域防災力の向上

概ね達成

★何をを目指すのか、目指すべき方向は？

（評価日）平成26年12月31日

#### 戦略課題の目標

東日本大震災において、事前の想定をはるかに超える人的及び物的被害が発生したことを受け、国や大阪府では根本的に防災計画等が見直されました。平成26年3月に策定されました大阪府地域防災計画では、「減災：災害を減らすこと」を基本理念として、①命を守る、②命をつなぐ、③必要不可欠な行政機能の維持、④経済活動の機能維持、⑤迅速な復旧・復興の5つの方針で必要な対策を講じることとされました。

このことから、本市における地域防災計画を根本的に見直し、特に災害発生時に住民同士が互いに助け合える自主防災体制が整備され、地域主体の防災活動により、市民の安全が守られているまちを目指します。

#### セルフレビュー（自己点検）

東日本大震災の発生を受け、国の防災計画や大阪府地域防災計画が見直されたことから、「減災：災害を減らすこと」を基本理念とする新たな柏原市地域防災計画の策定に着手しております。

また、「減災」には、自分の身は自分で守る「自助」、自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る「共助」そして、公的機関が行う「公助」、これらを相互に高めることが必要であり、そのことが災害に強いまちづくりにつながるものと考えております。

## ★その実現に向けて、今年度は何をするのか？

## 施策推進上の目標

地域防災力の向上には、「公助」とともに「自助」及び「共助」の取組を一層進めることが重要であります。これは、東日本大震災などにおいて、災害時における行政の支援「公助」には一定の限界があることが明らかになり、被害を最小限とするには、地域住民が主体的に行動することが重要であり、より一層『自助・共助』の大切さがクローズアップされました。そのため、「自助」「公助」の取組を推進していくことで、地域防災力の向上を図ります。

## 取組結果・実施状況

地域防災力の向上には、「公助」とともに「自助」及び「共助」の取組を一層進めました。

具体的には、「共助」の取組としましては、自主防災組織の結成や自主防災訓練の実施に向けて支援、地域住民の代表者などとの町歩きを基に地区ごとのハザードマップの作成を進めました。

また、「公助」の取組としましては、柏原市地域防災計画の見直しに着手し、老朽化が進んでいた大阪府防災行政無線の再整備や民間企業との連携を実施しました。

職員防災訓練として、阪神・淡路大震災の発生後、20年を迎え、平成27年1月17日（土）午前5時45分に職員安否確認メールを送信し、確認メールを返信させる職員訓練を事前通告なしで実施しました。

## ★その取組により、何をどのような状態にするのか？

## アウトプット

地域住民が自然災害に関する情報を共有した上で、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という考えのもとに、組織強化に向けた取組を行います。

- ①自主防災組織の整備
  - ・自主防災組織の未結成地区の解消（現在の106町会から114町会全てで組織化をします。）
- ②自主防災訓練の2年に1度の実施
  - ・平成25・26年度の2年間で全地区の自主防災訓練を実施します。
- ③全地区の個別ハザードマップの作成・配布
  - ・114町会全てでまち歩き等を実施し、ハザードマップを作成し、配布します。
- ④柏原市地域防災計画の見直しの実施
  - ・新たな防災計画の策定に向け、内容の見直しを行います。
- ⑤大阪府行政防災無線の再整備
- ⑥市職員による防災訓練の実施
- ⑦民間企業と連携しての訓練等の実施

## 取組結果・実施状況

- ① 自主防災組織の整備
  - ・自主防災組織の整備状況は、結成地区が106町会から2町会增加、108町会となり、結成率92.9%から94.7%へ増加
- ② 自主防災訓練の2年に1度の実施
  - ・平成25・26年度の2年間で90町会が自主防災訓練を実施その実施率は83.3%
- ③ 地区の個別ハザードマップの作成・配布
  - ・114町会全てでまち歩き等を実施し、地区別ハザードマップを作成中で、各町会内の回覧用として、平成27年3月までに配布
- ④ 柏原市地域防災計画の見直しの実施
  - ・受託事業者を決定、平成27年9月末までに策定
- ⑤ 大阪府行政防災無線の再整備
  - ・平成27年3月末までに再整備が完了
- ⑥ 職員による防災訓練の実施
  - ・平成27年1月17日早朝に、緊急時における職員動員の前提となる職員安否確認システムによるメールの送受信訓練を実施
- ⑦ 民間企業と連携しての訓練等の実施
  - ・平成26年10月25日、柏原市・羽曳野市・藤井寺市

による三市合同総合防災フェアを開催し、多くのインフラ関連企業の参画のもと訓練等を実施

- ・平成 27 年 1 月 16 日、(株)ジェイコムウエストとの間で、災害時の緊急放送における協定を締結

#### ⑧ 災害対策本部機能の充実

- ・現在の市役所本館庁舎の耐震状況を踏まえ、平成 27 年度当初から危機管理課を市民文化会館(リビエールホール)内へ移設に向けた取組を完了

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

#### アウトカム

「公助」とともに、地域防災における「自助」「共助」、すなわち「自分たちの地域は自分たちで守る。」ことの重要性を地域みなさんに持っていただくことで、災害への備えの意識を高めます。

#### 取組結果・実施状況

阪神淡路大震災や東日本大震災の発生を受け、災害をいかにして減らすのかという「減災」の考えが国や大阪府の防災計画に盛り込まれています。柏原市地域防災計画にも「減災」を基本理念として見直しを進めておりますが、震災時に「自助」及び「共助」が機能した地域では、災害が少なかったことが立証されております。

今後とも、「自助」、「共助」及び「公助」を充実させることを最重要課題と位置づけ、今後ともその取組を継続することで、災害時の地域防災力の向上を進めて参ります。

(評価日) 平成27年1月31日

市長評価

(C) 期待 : 一定の目標は達成できたが、もうひと頑張り。今後に期待する。

市長のコメント

- ・ 自主防災組織の市内 100%の組織化を目指し、直ちに組織化できない地区への別途支援も検討すること。
- ・ 災害時に使用する備品等の在庫把握を徹底すること。また、災害時に必要となる重機等の調達策を検討しておくこと。

(作成日) 平成27年2月27日

行政評価委員会のコメント

- ・ 自助、共助の必要性は災害時だけではなく、普段の生活で活かせるように取り組まれたい。
- ・ 減災に対する取組として、自助、近助、共助、公助の相互の連携が不可欠であると考える。
- ・ 非常災害時に市民を守るための施策であり、安心感を与えるもので市民は感謝している。
- ・ 高齢化の進展に伴い地震等の災害に対する市民の不安が大きくなっているため、防災訓練の回数を増やし効果が上がるよう努められたい。

(作成日) 平成27年2月27日

## 今後の取組の方向性など

地域防災力の向上に向けての今後の主な取組内容しましては、

- ① 平成26年度から着手している柏原市地域防災計画の見直しを行い、平成27年9月末までに「減災」を基本理念とする新たな柏原市地域防災計画を策定します。また、柏原市地域防災計画の見直しに当っては、危機管理課職員だけでなく他の職員にも計画内容が理解できるよう、見直し案の段階から参画することで今以上に実効性のあるものとしします。
- ② 柏原市防災行政無線を現在のアナログ方式からデジタル方式に更新し、その無線設置場所も耐震に課題のある本館庁舎から市民文化会館（リビエールホール）へ移設します。また、無線のデジタル化に伴い、居住地域を網羅できるよう屋外スピーカーを増設することで情報伝達エリアを拡大します。
- ③ 自主防災組織の100%組織化へ向けた取組を継続します。また、自主防災訓練の実施内容には新たな訓練を取り入れるなど、その活性化に努めます。
- ④ 新たな柏原市地域防災計画に沿って、指定緊急避難場所を始めとする各避難所での備蓄品の配備を進めます。  
「自助」「共助」及び「公助」に関する取組を進めることが、災害時における被害の軽減につながることから、今後とも必要な事業を進めて参ります。

## 重点課題 ②

## 自己評価

## 市内循環バスの利用促進と効率的な運営

一部達成

## ★何をを目指すのか、目指すべき方向は？

(評価日) 平成26年12月31日

## 戦略課題の目標

市内循環バスは、外出手段を持たない高齢者や障がい者の社会参加を促進するため、駅や公共施設へのアクセスを向上させ、また民間バス事業者の撤退による、交通不便地区の解消を図り、「まち」の活性化を目的として、市内循環バスを運行します。市内循環バス事業の運営につきましては、更なる経費の削減と効率化した事業とするため、また平成27年度から、新たな形態での事業運営となるよう今年度中にその対策を推進してまいります。

## セルフレビュー（自己点検）

市が実施する事業の中でも、この市内循環バス事業は、より低いコスト（効率的な運営）でより高い効果（利用促進）を求められている事業であり、その実現に向けて取組を進めました。

## ★その実現に向けて、今年度は何をするのか？

## 施策推進上の目標

市内循環バスは、利用実態を踏まえた効率性及び利便性の向上を図り、市民生活に著しい影響を与えることがないように配慮し、路線の新設・統廃合、停留所の位置等の見直しを行い、より効果的・効率的な運行を実施します。

また、平成27年度から、現状の市内循環バス事業の運営形態である直営方式を見直し、一部路線の民間委託も含め、

## 取組結果・実施状況

具体的な今年度の取組としましては、市民要望のありました田辺2丁目と国分駅東口との間で、小型車両（5号車）による運行を開始し、それに伴う新たな停留所を設置しました。

また、国が示す地方創生における総合戦略に基づき、小さな拠点を支える公共交通網として、市内循環バスの再構築を検討しております。そのため、4号車の運行ルート of 民間委

当該事業のサービスを維持しながら、管理費用の更なる削減に向けた取組みを進めてまいります。

託につきましては、その再構築の方針が固まり次第、平成27年度の早い段階での実現に向け、民間委託の事務手続きを進めていきます。

★その取組により、何をどのような状態にするのか？

#### アウトプット

市内循環バス事業は、28人乗りマイクロバス4台及び14人乗り小型車両1台、合わせて5台の車両により、市内55か所の停留所を5ルートに分け、年間244日で運行します。

その結果、市内循環バスの年間乗降者数を240,000人超となるよう目指します。

#### 取組結果・実施状況

市内循環バスの新たな運行ルートの開始に伴い、循環バスの停留所を55か所から58か所へ増やしました。

市内循環バスの平成26年4月から12月末までの乗降者数が184,499人となり、前年同月末と比較4,637人増加しております。

また、1日当りの平均乗降者数も前年比約35人増加しておりますことから年間乗降者数の目標値240,000人を超えるものと考えております。



★その取組により、何をどのような状態にするのか？

### アウトカム

高齢者や障がい者の社会参加及び公共施設へのアクセス手段として市内循環バスを運行することで、まちの活性化を目指し、「市民意識調査」などにおける「満足度」の向上に努めます。

### 取組結果・実施状況

平成26年度「市民意識調査」における市内循環バス等に該当する項目「交通網」につきましては、「満足度」が前回調査より、0.22ポイント増加しました。しかしながら「満足度順位」では、33位から37位へ後退しております。

また、「重要度」は、前回より0.05ポイント増加しましたが、「重要度順位」は、15位から17位へと後退しております。

該当項目「交通網」は、市内循環バスだけでなく、市内道路の整備など市内道路状況も含まれることから、市内循環バスそのものの評価を抽出することは難しいが、今後も効率的に市内循環バス事業を継続することが地域の活性化につながるものと考えております。

(評価日) 平成27年1月31日

市長評価

(C) 期待 : 一定の目標は達成できたが、もうひと頑張り。今後に期待する。

市長のコメント

- ・市内循環バスの運営について、平成27年度に1路線を民営化するが、今後の民営化を含めた将来的な展望を示すこと。
- ・運転業務の民間委託に伴う運転手職員の配置転換について検討し、スムーズに移行できるよう十分準備すること。

(作成日) 平成27年2月27日

行政評価委員会のコメント

- ・目標のねらいは外出手段を持たない高齢者や障害者の社会参加であることから、乗降者の中で高齢者や障害者を対象とした利用人数や利用ニーズなどをサンプリング調査で把握することにより、アウトカムが市民目線に沿ったもので明確になると考える。
- ・経費の削減と効率化のために受益者負担や民間委託について、さらなる検討を図られたい。

(作成日) 平成27年2月27日

## 今後の取組の方向性など

市内循環バス事業は、平成10年の運行開始以来、市所有の車両を使用して市職員の運転で実施してまいりましたが、平成27年度の早い時期に5つの運行路線のうち1路線の運転業務（バスは市所有の車両）を民間事業者へ委託します。これは、バス事業に係る経費の削減を進めるために行うものです。当該事業の今後の取組みにつきましては、更なる効率化を進めることが必要です。そのため平成27年度の民間委託に伴う経費の削減額（効果額）の確認とアンケート調査などから民間委託の実施に関する利用者の満足度の把握を行った上で、更なる民間委託の促進について、判断してまいります。

また、循環バス年間乗降者数につきましては、平成26年度24万人超を目標に取り組んでおりますが、平成27年2月末までの利用者数が221,402人となり、目標数を達成することは確実となっております。今後も利用者拡大を進めてまいります。